

○繫 …… 繩で馬の足をつなぐ。〔『漢辞海』〕

142 ○瘡 …… できもの。かさ。〔『漢辞海』〕

○雀 …… 『漢詩の事典』の「雀（黄雀）」の項では

「雀は、最も身近な鳥である。だから雀の描写が、他の鳥にもまして具体的かと言えば、必ずしもそうではない。そこに描かれる姿は、写実的というよりも多分に類型的、観念的なのである。そのイメージは、何よりも卑小さにある。①大志を持たない小人、あるいは②権力者に虐げられる細民の譬喩である。またまれに、③農作物を食い荒らす害虫として、貪欲な官吏の譬喩になることもある」と説明する。

○攀 …… 手や足が曲がったまま伸ばせない。かがまる。ひきつる。つる。〔『漢辞海』〕

143 ○垣牆 …… かきね。かこい。〔『漢辞海』〕。垣牆。

「垣牆」の例として、『禮記』「月令」の「坏垣牆、補城郭」の用例、および『戦国策』「燕策」の「國之有封疆、猶家之有垣牆」の用例、および『莊子』「庚桑楚」の「將妄鑿垣牆、而殖蓬蒿也」が見える。『漢語大詞典』では、「亦作垣牆。院牆圍牆」と説明し韓愈「守戒」の「宅於都者、知穿窬之為盜、即必峻其垣牆、而内固扃鐃以防之」の用例を引く。

144 ○偷 …… こっそりと。ひそかに。《人目を避けて行為する意》〔『漢辞海』〕

○戸牖 …… 戸口と窓。「牖」は「壁に明けた窓」。

『老子』「十一」の「鑿戸牖以為室」の用例、および『淮南子』「精神訓」の「夫孔竅者、精神之戸牖也」の用例、および『後漢書』「王充傳」の「戸牖牆壁、各置刀筆、著論衡八十五篇、二十餘萬言」の